

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2006-519292(P2006-519292A)

【公表日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-033

【出願番号】特願2006-503724(P2006-503724)

【国際特許分類】

C 08 G 61/00 (2006.01)

C 08 L 65/00 (2006.01)

C 07 D 307/88 (2006.01)

C 07 D 309/32 (2006.01)

【F I】

C 08 G 61/00

C 08 L 65/00

C 07 D 307/88

C 07 D 309/32

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月14日(2007.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

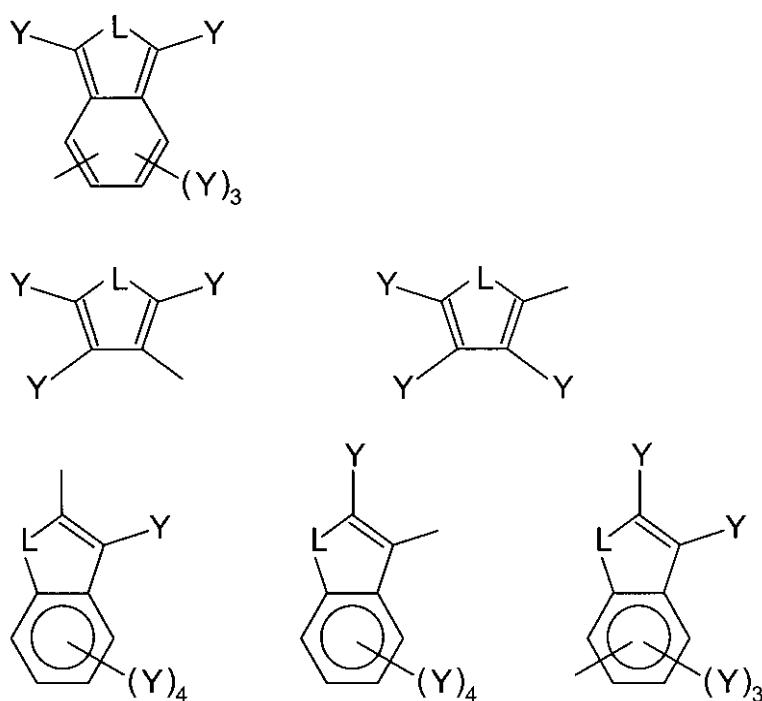
(a)少なくとも2個の環状官能基を含む第一のモノマー、(b)少なくとも2個のジエノフィル官能基を含む第二のモノマーを含む反応混合物を準備し、そして

前記反応混合物を加熱して、重合した又は部分的に重合したポリアリーレン材料を生成させることを含んでなり、前記第一又は第二のモノマーの少なくとも一つが、少なくとも3個の官能基を含んでいなければならず、且つ前記第一のモノマーの環状基が2つの共役炭素-炭素二重結合及び、-O-、-S-、-(SO₂)-、-N=N-又は-O(CO)-から選ばれる脱離基Lの存在によって特徴づけられる架橋された又は架橋性のポリアリーレンの製造方法。

【請求項2】

前記第一のモノマーが式:(DE)_n-X(式中DEは、

【化1】



から選ばれ、Lは-O-,-S-,-(SO₂)-,-N=N-又は-O(CO)-から選ばれ、Yは、それぞれ独立に、水素、炭素原子6~10のアリール基、炭素原子1~10のアルキル基又は2つの隣接するY基がそれらに接続する炭素原子と一緒にになって、炭素原子6の芳香環を形成し；

nは2又はそれ以上の整数であり；そして

Xは多価の結合基又は単結合である)である請求項1に記載の方法。

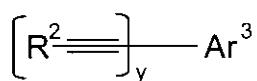
【請求項3】

Lが-O-又は-O(CO)-である請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第二のモノマーが式：

【化2】



(式中、R²は、独立に、H又は、非置換もしくは不活性置換の芳香族残基であり、Ar³は、独立に、非置換の芳香族残基又は不活性置換の芳香族残基であり、そしてyは3又はそれ以上である)を有する請求項2に記載の方法。

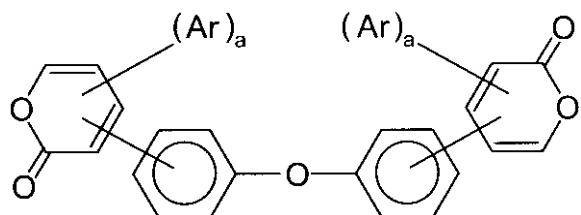
【請求項5】

モノマーが溶媒に分散されている請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記第一のモノマーが式：

【化3】



(式中、Arは芳香族基であり、aは0, 1又は2である)を有する請求項1に記載の方法。

【請求項7】

請求項1に記載の方法により製造される硬化性ポリマーであって、重合がゲル化の生ずる前に停止されたポリマー。

【請求項8】

請求項7に記載のポリマーを含んでなる組成物。

【請求項9】

ポロゲンを更に含む請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

請求項7に記載のポリマーを含んでなり、そのポリマーが引き続く加熱により硬化されているフィルム。

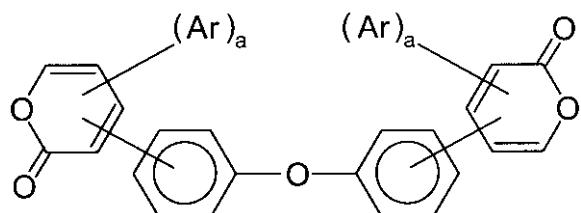
【請求項11】

請求項10に記載のフィルムを含む成形品。

【請求項12】

式:

【化4】



(式中、Arは芳香族基であり、aは0, 1又は2である)を有するモノマー。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【化 3】

